

## 山行報告書

受付 No.	416	登山地・ルート	前穂高岳北尾根 慶応尾根
目的	雪山の総合力を高める		
メンバー	大山、坂野		
行動記録			

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム
3・18・日	曇/雪	浜松=沢渡Ⓟ=釜ノ池~上高地~明神~ 徳沢 ~尾根(1750)~テント場(2100) 7:20 8:58 10:12 11:23 13:38 15:15
3・19・月	晴れ	テント場~2560ピーク~ 八峰 ~ テント場 ~ 徳沢 ~ 上高地 BT 6:25 9:42 11:18-44 13:13-57 15:46 17:53
3・20・火	晴れ	上高地 BT~釜ノ池出口=沢渡Ⓟ=浜松 7:23 9:17

### 記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

【1日目】 1月に足を痛めて以来、山から遠ざかっていたもののずっと心に掛かっているルートでもあり気後れしつつも計画書を出した。しかし当初の入山予定の土曜日の予報が悪かったので、メンタル・フィジカル共に準備不足を自覚していた自分は渡りに舟という感じで、じゃあ慶応尾根だけでもと1日遅らせて出発した。

沢渡の朝はもう思ったほどには寒くなく、夕方で釜ノ池まで。そこからすでに坂野氏とは間が空くが、マイペースで歩く。大正池の辺りで坂野氏が振り返ったが特にリアクションを取らずにいたらそのままバスターミナルまで。さすがに1ピッチで歩くのはきつかった。緩んだ雪に靴が沈み込むのが負担に思ったのでバスターミナルで輪かんを着ける。徳沢まで部分的に雪のない箇所もあり。雪のない新村橋を渡りながら足元を見ると輪かんの歯が横を向いていた。そのままでは前後に分解するというのでテープで応急処置。行きの中中で輪かんがそろそろやばいという話をしていたがまさか本当に壊れるとは思わなかった。しばらく行くと坂野氏が止まっていた。見ると今度は坂野氏の輪かんが破損していた。こちらは中央に横に渡したテープが切れていた。手間取りそうなので先に行く。うっすらとあるトレースを追って尾根まで上がり輪かんを外す。1時間強登って傾斜が落ちたところでテントを設営する。雪が降り始めていた。

【2日目】 夜はずっと雪が降っていて、時折強風も吹きつけた。しかし起きて外に出てみると快晴。少し登ると展望が開けて前穂北尾根の上部が見えた。坂野氏に乗っかる山行も情けないので、比率は小さくてもラッセルもバテない程度にがんばる。とはいえ雪が固くて消耗する。坂野氏にそろそろ休憩…と伝えると、「じゃあそこまで行ったら」という答え。そう言いつつ止まる気配なし。そこまでってどこまで!?「あの野郎…」と呟きながら登って行くが、だんだん蹴り込みもきかなくなり、足も上がらない。2560ピークで止まっている坂野氏に文句を言いつつ、そこでの圧倒的な展望に苦しさも忘れる。以前、花村さんに今までで一番きつかったルートを聞いたとき、慶応尾根という答えが返ってきて以来、どれほど急な尾根なのだろうかと思っていたけれど、当時の花村さんたちは坂巻温泉からスタートして一日でここまで来たのだ。正月山行で雪のコンディションは違うとはいえ、花村さん、ルートがきつかったのではなくて、その行動がきつかったんですね。

そこから一旦下り、急斜面を上り返す。八峰手前は傾斜も落ち、辿りついた八峰からは、圧倒的な北尾根と奥穂、北穂の向こうに槍ヶ岳も見えた。見下ろす沢尻には雪に埋まった小屋。夏の賑わいはまだ先だ。展望を存分に楽しんできた道を下る。2560ピーク手前の急斜面はバックステップで慎重に下り、テント場に戻る。テントを撤収して下山。昨日のトレースがうっすらと残る。奥又白谷は奥の方にデブリが見えた。林道に下りてからは疲れた身体でとぼとぼと歩く。薄暗くなる頃、やっとのことで上高地バスターミナルに到着。整地の必要もなく、水も梓川から取って手間を省略。疲労のあまりご飯が食べられず(おつまみの食べ過ぎも?)、予備食として携帯していたキンダーで夕食を済ます。

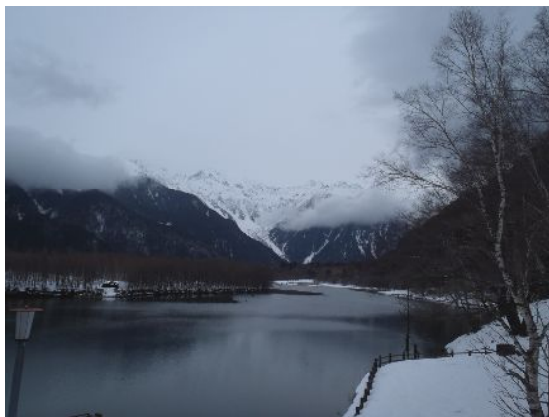
【3日目】 朝早くから下山していく人がテントの横を通った。寝ていられず予定より早く起床。本日も快晴。予定通り土曜日に雨のなか入山していたら北尾根から穂高の稜線を快晴のなか行動できたと思うと勿体ないが、日曜日の微妙な天気は行動の判断に迷ったかもしれない。解けた雪が凍結した林道を足元に注意しな

がら歩いていくと穂高の展望がいきなり良くなった。こんな所は通った覚えはないが…と見回すと、行く先に西穂の登山口が。道を間違えた。先に行ったはずの坂野氏が向こうから歩いてくる。そのまま大正池までは遊歩道を歩く。上高地散策の人がたくさん入っているのでトレースは安定。田代池からの穂高の展望が素晴しかった。大正池で夕ヶを予約するが、到着時間を40分くらいと適当に伝えたところ最後は早足で歩く羽目に。1時間くらい見積もったほうがよかったかも。時間が早いので温泉が心配だったが、駐車場近くのそば屋の温泉に入れた。

慶応尾根は、そんなに悪い所もなく、八峰のピストンだけでも十分に楽しめる。登りきった先の展望も第一級だと思う。ただ、夕ヶが15~16時で下りてしまうので1泊2日では厳しいかもしれない。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--



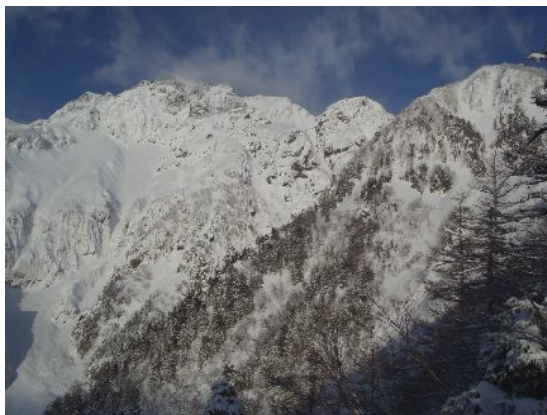
どんよりながらも見える穂高の稜線



テント場。四隅に木があり、竹ペグ不要



応急処置した輪かん



ひと上りで見えた北尾根。まだ高い。



尾根上のオブジェ



八峰まであと少し



2560 ピーク



八峰からの北尾根



休憩って言ったんですけど…



北穂と槍ヶ岳